

近藤 正美 議員

多文化共生への課題と対応は

問 多文化共生を推進する上で課題は
どう対処するか。

答 行政サービスや情報の多言語化、医療通訳の普及、外国人児童生徒への教育支援などの課題に対し、方策を検討するために、人口規模が近い県内外の都市と実務的に話し合う場を今後設けたい。

地区住民アンケートの評価は

問 浅羽北地区まちづくり協議会が実施した住民アンケートをどう評価するか。

答 高い回収率で、中・高校生を含めた幅広い世代からの住民ニーズや課題等が「見える化」され、地域住民の意向を反映した結果であると高く評価している。今後多くの人々が地域活動に積極的に参加することを期待したい。

秋葉山常夜燈を 市指定文化財へ登録を

問 地域の歴史文化遺産であり、市指定文化財へ登録できないか。

答 地域の要望をもとに、文化財保護条例に基づき専門家からなる市文化財保護審議会で調査と審議が行われているが、建立年代や制作者を特定できないことから、現時点では指定要件を満たしていない。



岡崎の常夜燈

寺田 守 議員

小山鷺巣線・鷺巣地内の整備

問 同線は短期整備路線に追加されたが、地域や地権者の皆さんとの意見交換や協議はどこまで進んでいるのか。

答 これまでの経過、資料などを整理し、意見交換等のための資料作りをした上で、地域に入っていく。時期としては8月下旬より始めていきたい。

初期支援教室の体制

問 日本に初めてくる外国人児童生徒への語学指導、生活習慣を学ぶ初期支援教室は十分か。

答 本年度から初期支援期間を4週間から12週間に拡大するとともに、指導者を1人増員して習熟度別指導やティームティーチングによる個々に応じた指導を実施している。

地域での外国人支援

問 袋井北小学校区では「ともえサポーターズ」が行っている外国籍児童・保護者を対象とした日本語教室などへの支援体制はどうか。

答 身近で通いやすい時間に日本語を学べる環境整備が、重要なことと考えている。国際交流協会・コミセン等の協力をいたしながら、活動が継続できるように支援していきたい。



市道小山鷺巣線